

## 三陸北部森林管理署の採材現地検討会に参加

令和8年9月10日(木)、岩手県宮古市の南平津戸山国有林内において三陸北部森林管理署主催の採材検討会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。

当日は天候にも恵まれ、管内市町村担当者、林業関係団体や林業事業体など60名の参加者を得て開催されました。三陸北部森林管理署長の挨拶後に講師の紹介、続いて青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向について、今年度の委託販売状況、スギ等針葉樹の4m採材の推進、採材・巻立に関する留意事項等について説明しました。次に岩手県森林組合連合会から県内の木材市況等についての情報提供をいただき、続いて署担当者から現地概要等についての説明が行われた後、採材検討に移りました。



開会式の様子



参加者が6班に分かれて採材検討

会場に準備されたカラマツ、シラカバ、ミズナラの造材済み供試木を、参加者が6班に分かれてそれぞれ採材・仕分け区分について検討。検討結果について岩手県森林組合連合会から解説していただくとともに、採材に当たっての留意点等についても情報提供していただき、有利採材・有利販売に向けての理解を深めることができました。

最後に、青森事務所から講評と労働安全等についてお話をいただき、検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署等で開催される採材現地検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



各班の検討結果について解説



労働災害未然防止に向け指導